

平成 29 年度

広島大学理学研究科 数学教室談話会

平成 29 年 12 月 12 日 (火) 午後 1 時
広島大学理学部 B 棟 7 階 B707 教室

奥間 智弘 氏 (山形大学)

題目：複素 2 次元特異点の極大イデアルサイクルについて

複素 2 次元特異点の位相型は特異点解消グラフによって記述できる．Artin が定義した基本サイクルは，特異点解消空間上の因子であり，特異点解消グラフから計算することが可能である．一方，極大イデアルサイクルは，有理特異点や最小楕円型特異点の場合には最小特異点解消上で基本サイクルに一致するが，一般には複素構造に依存し，求めることも困難である．実際，位相型が同じ特異点でも，極大イデアルサイクルによって複素構造のタイプが大きく異なる例がある．今回は，極大イデアルサイクルの基本的な結果やこれらの例について紹介したい．

問合せ先:

広島大学理学研究科数学教室談話会係

〒 739-8526 東広島市鏡山 1-3-1

電話: 082-424-7330 (川下美潮)

email: kawasita@hiroshima-u.ac.jp

最新の教室情報はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

本セミナーは、5 研究科共同セミナーを兼ねています。